



平成30年7月11日～12日

正尊寺仏教壮年会研修旅行

～親鸞聖人ご流罪の地を訪ね 恵信尼公750回忌墓参旅行～

平成30年正尊寺仏壮旅行

7月11日～12日 上越・信州御旧跡巡り

正尊寺仏教壮年会研修旅行

～親鸞聖人ご流罪の地を訪ね
恵信尼公750回忌墓参旅行～



日程表 平成30年7月11日(水)～12日(木)

1日目

正尊寺(630號) → 関広見IC → 北陸朝日IC → ①横尾腰掛石 →
親不知展望台 → ②大雲寺 → ③親不知パーク → ④木浦西性寺 →
⑤居多ヶ浜 → ⑥国府別院 → ⑦恵信尼公廟所 → ⑧赤倉温泉

宿泊: 赤倉ホテル TEL 0255-87-2001

2日目

⑧赤倉ホテル → ⑨一茶記念館 → ⑩明尊寺 → ⑪弘法大師御坊 →
⑫善光寺(願・堂照坊参拝) → 長野IC → 関広見IC → 正尊寺

①横尾の腰掛石・大櫓

富山県下新川郡朝日町横尾210



国道8号線北陸街道ぞいにはいたる所に親鸞聖人の御旧跡が残っています。富山平野の最北、ここから険しい越中境に入る場所で親鸞さまも休まれたことでしょう。

親不知

新潟県糸魚川市の西端に位置する崖が連なった地帯で、正式には親不知・子不知といい、北アルプスの日本海側の端で、海岸の断崖絶壁に沿って狭い砂浜があるだけで、古くから交通の難所。断崖と波が険しいため、親は子を、子は親を 省みることができない程に険しい道であることから、この名が付いたといわれる。



②大雲寺

新潟県糸魚川市外波245 TEL 025-562-3030



このお寺の伝承では、親不知の難所にさしかかった親鸞さまの前に一人の漁師が突然現れ、「お坊様、シケでお困りの様子。私は立ちすくみと申す者、背負ってさしあげましょう」と、安全な所まで届けると煙のように消えていった。そのあと外波村の神主、大文字屋右近の家に「旅の僧ですが、一晩泊めて下さらんか」と頼まれたが「せっかくですが、お断りします」といわれ、あえなく軒下の石を枕に野宿となりました。

家の中では右近夫婦が、浜辺で旅の僧を背負って親不知の難所を渡った漁師の噂をしていたとき、右近が仏壇をみると、妻の佐野が信仰している如来様の腰から下がぬれ、足に砂がついて後ろ向きになっていました。「もしや、旅の僧を背負って、あの難所を渡ったのは、この如来様だったのでは…」右近は慌てて外へ出、石を枕にして横になっていた聖人と弟子に謝り、家の中に招き入れ、親鸞さまの説教のご縁で弟子となりました。「親鸞聖人親不知通行之図」などの宝物がある真宗大谷派寺院。

③親不知ピアパーク

駐: レストラン漁火 TEL 025-561-7291

親不知ピアパークは、全国初の海上インターチェンジであり北陸自動車道「親不知IC」の下で、食事・買い物・海遊びなど人気の休憩スポットです。



④木浦西性寺 新潟県糸魚川市木浦3779 TEL025-566-2579



難所の親不知海岸を越えられた親鸞聖人は木浦村の鬼伏の地まで歩かれ、梅田出雲守という地方役人の家に宿を取られました。聖人から教えを聞いた家人は弟子となり、木浦から国府津まで船を出し、7里(28km)海路での便宜を図りました。

後に蓮如上人から西性寺という寺号を賜り、現在は真宗大谷派。

⑤居多ヶ浜にたがはま 親鸞聖人上陸の地 新潟県上越市五智6-3-4

承元元年(1207)35歳のときに朝廷より念仏の弾圧を受け、

木浦から船に乗り3月28日にこの浜に上陸されました。



「もしわれ配所におもむかずは、何によりてか

辺鄙の群類を化せん、これ猶師教の思致なり」(御伝妙上巻第三段 六角夢窓)

片葉のアシ 親鸞聖人越後七不思議の一つ、聖人が関東へご出立されるとき、別れを惜しみ聖人の歩かれる方へ向かって手(葉)を合わせ、片葉になったといわれる。

⑥国府別院 新潟県上越市国府1-7-1 TEL 025-543-2742



親鸞聖人が恵信尼公とともに住まれた竹ヶ花草庵跡、江戸時代後期聖人の遺徳を偲び袈裟掛け松の側に「小丸山別院」が建立され、国府別院として現在に至る。

⑦恵信尼公廟所 上越市板倉区米増27-4 記念館 TEL 0255-81-4541

昭和31年に旧板倉町米増の水田の中に「比丘尼墓」と呼び伝えられる五輪塔が発見され、恵信尼消息第8通「五重に候う塔」とある恵信尼公の墓に違いないとして、昭和37年に「本願寺国府別院」の飛地境内として整備されました。



恵信尼さまのお手紙から、ご往生は文永5年(1268)、87歳の頃で、今年はちょうど750回忌にあたり、「こぶしの里 恵信尼さま会館」で仏社会もお勤めしましょう。

平成17年『ふしみの里記念館』が建設、廟所も一新されました。

⑧赤倉温泉 新潟県妙高市赤倉486 TEL 0255-87-2001

親鸞聖人が妙高山から下山の途中に、山間にて甑が湯浴みする姿を見つけ温泉の存在を知られ、里人にこれを教えられたのが赤倉温泉の始まりと伝えられています。



赤倉温泉ホテルはロビーに仏壇があり、両脇には初代聖人袈裟掛けの松で作成されたご開山像・蓮如上人像がご安置されています。

赤倉ホテル創業者の母、平井ショウ妙好人の三回忌法要を期に、昭和34年から毎年秋このホテルで「有縁講」が勤められています。

⑨一茶記念館 長野県上水内郡信濃町柏原2437 TEL 026-255-3741



小林一茶は宝暦13年(1763)、信濃町の農家に生まれ浄土真宗の熱心な信者でした。一茶の俳句には浄土真宗の教え、「自然法爾」の教えのが大きく影響を与えています。

「かたつむり どこで死んでも わが家かな」一茶

「さて後生の一大事は、其身を如来の御前に投出して、地獄なりとも極楽なりとも、あなた様の御はからひ次第、あそばされくださりませと、御頼み申ばかり也。【おらが象】」

⑩明専寺 長野県上水内郡信濃町柏原93 TEL 026-255-2354

小林一茶の師匠寺、境内には一茶著作『あらが春』に収録された句の句碑も有る。「我と来て 遊べや親の ない雀」。赤倉ホテルの師匠寺でもあり「有縁講」とも関係のある本願寺派寺院。



⑪藤ノ木榎御坊 飯山市旭214-1 TEL 0269-62-2766 (正行寺管理)



親鸞聖人は関東へ向かわれる途中、飯山藤ノ木に逗留され、み教えを人々にお伝えされ、お堂の下には聖人説法の石が伝わっています。蓮如上人は、聖人の御旧跡を巡拝された折この地に立ち寄り榎を植えられ、それが大木となり「榎の御坊」と呼ばれています。

⑫善光寺 長野市長野元善町491 TEL 026-234-3591



善光寺は親鸞聖人が百日間「堂照坊」に逗留され、松を本堂にお供えし参拝されました。境内には「お花松像」「爪彫如来」が安置されています。



堂照坊 長野市長野元善町467 TEL026-232-3427

寺宝に「世字の名号」、親鸞聖人形見の歯が伝えられている。



先週までの大豪雨も終息し、快晴真夏日の
午前6：15集合、予定通り6時半出発となりましたが、ちょっとしたアクシデントでUターン、結果
7時リスタートとなりました。









①最初の参拝地は大型車侵入禁止で断念、腰掛け石と大ケヤキは国道8号線上の車窓から参拝でした。

親不知展望台からは静かな日本海が眺められ、最初の集合写真撮影でした。





②大雲寺では多くの法宝物を解説しながら見せてもらいました。





御住職と若院様が「立ちすくみの阿弥陀仏」や
「親鸞聖人親不知通行之図」など貴重な宝物全
て出して待っていてもらえました。

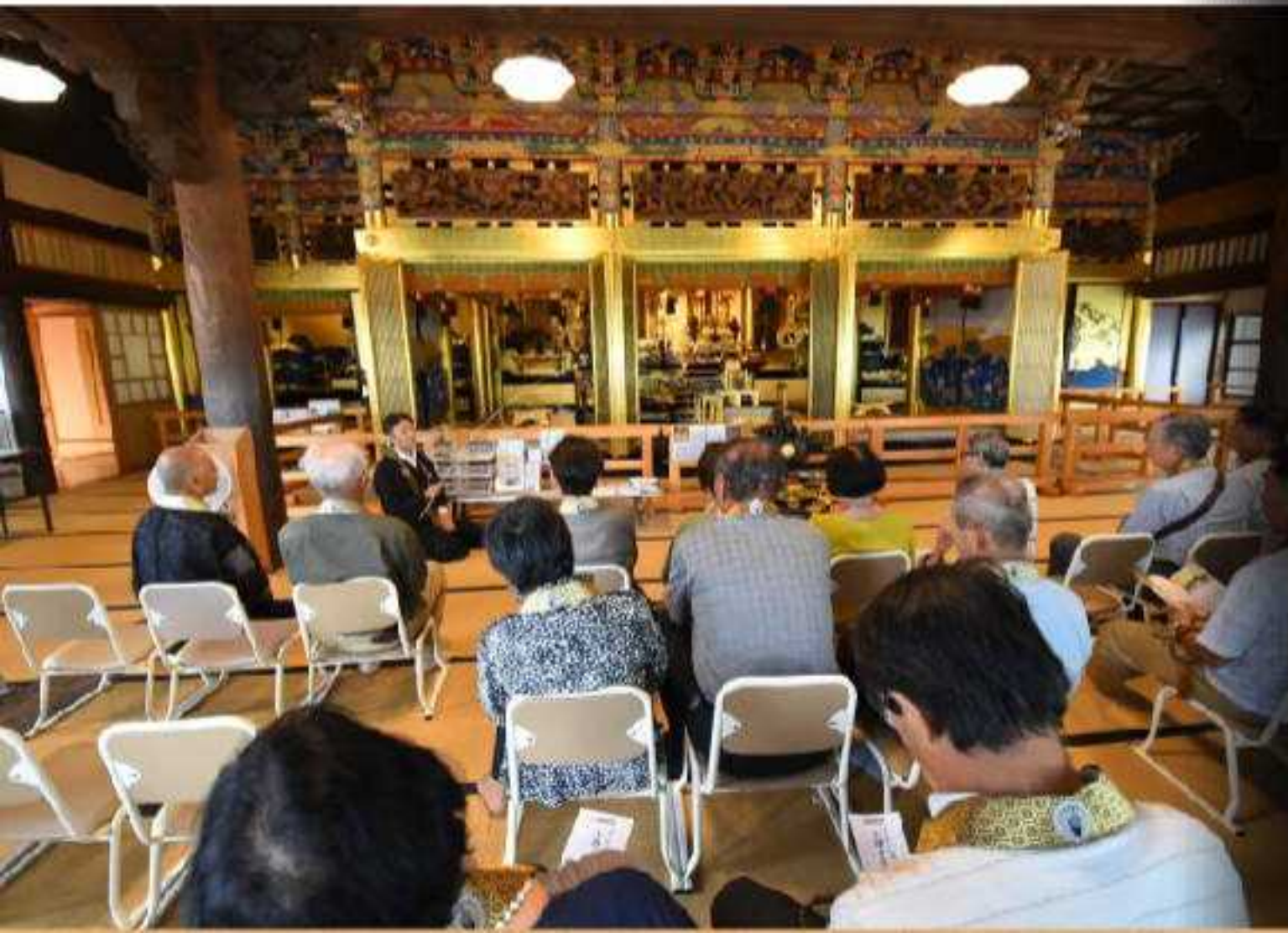








- ⑤親鸞聖人ご流罪上陸の地は上越の居多ヶ浜、
 ⑥竹ヶ花草庵跡の国府別院参拝。
 ご輪番は滋賀県野洲の中岡師でした。





⑦平成17年に再整備された恵信尼公の
廟所、15年前とはがらっと風景変わっ
ていました。

となりには立派なミュージアムもできて
います。



平成16年7月6日



アクシデントもありましたが、予定の5時半には赤倉ホテルに到着。

仏壇のあるロビーで、おはぎとお茶をいただき温泉です。







昨夜の夕食懇親会はカラオケ大開にも発展し、大いに盛り上がりました。

朝6時50分からロービーの仏間で浴衣姿で讃仏偈のお朝事、そのあと朝食バイキングです。



⑧赤倉ホテルは日本で唯一、親鸞さまを敬慕し、ロビーがお内仏で荘厳され、浴衣姿でもお朝事の勤められる高級ホテルです。







⑨小林一茶記念館は朝一番、正尊寺仏壮貸し切りでゆっくり見学できました。





⑩明専寺は小林一茶の師匠寺、小丸山のお墓から歩いて参拝です。
途中背丈を超える消火栓、冬の豪雪に思いが馳せられます。





2017年2月22日 信濃町明専寺



⑪飯山の藤ノ木御旧跡複御坊へ参拝。
お堂の縁下に親鸞聖人腰掛け石、境内
には蓮如上人お手植え榎、両師が偲べ
る御旧跡です。



「藤ノ木」という地名は、親鸞聖人が
名付け親だと信じられています。





榎御坊を管理しておられる町内会長さんが、本堂内陣の床をはがし、親鸞聖人が腰掛け説法されていた石を見せてもらえました。



⑫善光寺に到着です。バス専用の第2駐車場に入り、塔頭ガイドさんに案内されて参拝と昼食です。





善光寺は親鸞聖人も100日間逗留され、毎朝松の木をお供えに参られたという伝承があり、本堂には大きな花瓶に松だけがお供えされています。隣に有名な触ってピンズルがあり、親鸞松気づかない人も多いようですので注意です。





2003年 7月6日



昼食会場の1階はおみやげ物屋、買った品はバスまで届けておいてもらえるサービス、皆さんたくさん買いました。





親鸞聖人御縁筆

笹文字御名号

親鸞聖人御作笹文字御名号

御旧跡 信州善光寺 堂照坊 御室物

南無阿弥陀仏

親鸞聖人御歌
いけのすゐにうもれおぼえを
身も心もあきらめおぼえを

信州善光寺 堂照坊

親鸞聖人が100日お泊まりになった堂照坊、浄土宗の筆頭塔頭で親鸞聖人が笹の葉で作られたお名号や、高齢で抜けた歯を守っています。



充実した御旧跡巡りも善光寺を最後に帰路につきます。

仏社会員は皆元気、よく食べ吞んで、良く笑い・・・

最後1時間のフリータイムで善光寺参道を楽しみバス集合でした。



「もう買わない」と言いながら、高速乗る前の休憩では、皆さん一杯下げてお帰ります。





親鸞聖人ご流罪のご苦勞跡を1泊2日で回り、お陰様を感じつつ皆元気で帰ってきました。

最後に駐車場で「恩徳讃」を唱って解散です。

お疲れ様でした、フォトブックを製作して旅の思い出にします。
住職

